



町屋町黒磯を流れる里川

水の思い出

～ 3 ～

「河川に遊ぶ」

小学生5～6年の時には、兎を飼って世話をし、毎日毎日源氏川や二高グランド等に、鎌と籠を持って、エサの草取りが日課であった。夕焼けの頃には、源氏川二高前の堰の水面に、ヒガイが飛び跳ねて波紋が30数個同時に拡がる。昼間には、釣竿とバケツを持って堤防よりエサはご飯ツブをつけて釣りをした。また、堰の下流では、スクイネットで、メダカ、ヒガイ、コブナ等、水に入り夢中で採った。半ズボンの下の素足には蛭が3匹も喰いついて、手で取ると喰われたところに血がでてくるのです。

夏には、堰で水泳をする。上流の宮本町堰では一高生水泳部が綱を張ってコースを作り、水泳練習の部活をしていた。

里川は水がキレイで、川に変化があり面白いと言うので、真夏にテクテク40分も歩いて行き、水泳を楽しんだ。ある日、洪水の後、増水で川幅も広く、水深もあり背も届かない深い所もあり、年上の中学生や高校生も泳いで向う岸に渡っていたのである。友人5人で渡る決心をした。早速実行で、川の流れが早い流れに乗って斜めに泳いだので、長い時間であった。私にとっては水泳に自信を持ったのである。

川で遊ぶと言うのは、上級生や下級生とも一緒であるために、色々な事を教えられたことは、思い出となりましたが少年時代の遊びを通しての交流の場であった。これは、大人になる第一歩であると思う。

里川の幅広の河川敷きにも遊水池として浅い池に水を入れ、水草や小魚の住む河川公園を造成して幼児・児童が安心して遊べるそして精神面の教育の場を開発していただきたい。（子ども会育成会 助川）

元朝参りあれこれ



河合神社
(上河合町)

正月3日間で200~300人の参拝者が訪れ、お神酒がふるまわれる。幸久小学校のとなりにあるので、ちょっと足を運んでみては。

長幡部神社(幡町)

参拝者にはこちらもお神酒とみかんが出される。機織の神様ということで、結城紬で有名な結城市や遠く桐生市などからも参拝者が訪れる。

参道は鎌倉の切り通しを思わせるようなガケにはさまれた細い道で、枯葉をふみながらの上り坂がぐねぐねと続く趣きのある小道。灯りを手にどうぞ。



若宮八幡宮(宮本町)

31日夜から元旦にかけて、市内では一番の大賑わい。押せや押せやで拝殿までたどりつくのも困難なほど。出店も多く、ダルマや縁起物はもちろん、大判焼もあ



馬場八幡宮(馬場町)

参拝者には、あつあつの甘酒をふるまってくれ、身体も心もほっかほかになる。

平成15年(2003年)3月には72年に一度の大イベント、西金砂神社・東金砂神社の大祭礼が行われる予定、ぜひ足を運んでみよう。

今年3月には、本殿が市指定文化財となった。拝殿には武運長久の大きな絵馬が掲げられている。

正月余談

上岡 正芳

いつごろからかわからないが、紅白歌合戦を見て雪の永平寺を見てゴーンおめでとうございますとやってみなで歩いて元朝まいりに行っていた。始めは父ひとりだったがだんだん参加者が増えてピーク時は10人以上になっていたと思う。まず、栄町のお愛宕さんから始まって太田小学校前の神社、本命若宮八幡、こん

びらさん、浄光寺の目の神社、塩横丁の神社、わがお稲荷さん、板谷坂下の神社、成田さん、法然寺の裏の神社、昔の助産所の神社、天王さん、西三の神社、秋葉さん、呑竜さん、最後に馬場の八幡さんとぞろぞろ。それぞれの神社で町内の番の人から、大人はお神酒を頂き顔を赤らめ子供たちのポケットも頂いたみかんで大きくふくらんで歩きにくそう。

途中、平野屋で支那そばを食べる。毎年同じように盛りよさに驚き、道すがら平野屋談義に花が咲く。子供たちも一回はこのカレーライスの大盛にチャレ

吉田神社
(町屋町)

うっそうとしたスギ木立にかこまれて、静かにたたずむ吉田神社。参拝者にはお神酒と甘酒がふるまわれる。町屋に行った時には、ぜひ足を伸ばしてみよう。



真弓神社
(真弓町)

県指定天然物「爺スギ」(樹齢約900年)がある、海拔329メートル山頂の真弓神社は、特に冬の眺めは最高、でも、たどり着くのはちょっときつい。

正月3日間で約1,000人の方々が参拝に訪れ、中には1人で300回以上お参りに来ている人もいる。

真弓神社は船の航行上の目印となっているため、航海安全・漁業の神として、漁業関係者の参拝も多い。

薩都神社(里野宮町)

参拝者には、お神酒とみかんをふるまってくれる。ご利益を期待してじっくり味わおう。

拝殿の中には三十六歌仙の額が掲げられている。



る。寒い夜ほっかほっかの
大判焼をほおぼるのがとっ
てもおいしい。

鳥居をくぐり、すぐ右側
にあるケヤキは県指定の天
然記念物。

ンジしてほしいなど。

3年前に「寒いから」と父が夜の部をやめ昼の部に
移ってからはどうも気炎があがらず、若宮八幡とお稲
荷さんだけというずぼらをしてしまっている。

とにかく父の神社好きはなかなかで車を運転してい
ても神社の前を通りかかると必ずおじぎをするのだ。
となりに乗っている人はそのたびにひやひや。朝は父
が神棚にパンパンをやらぬかぎりは始まらぬ。どんな
に早くの出発でもパンパンの後でないかぎりお茶を飲
むことができない。我が家では家例で正月3が日は餅

を食べない、さわってもいけない。3日間は赤飯と決
まっている。理由はわからない。どうして父が朝パン
パンとやらないとお茶が飲めないのか、それも理由は
わからない。その時口をもぐもぐとやるが何と言っ
ているかわからない。こんなに信心深い父だが、神棚の
扉が閉まっても気にしない。

お寺さんのお札も一緒においてパンパンとやってい
る。お守り、おみくじには興味がなく、願をかけるこ
ともない。ただひたすらパンパンとやる。今日も母を
となりに村松虚空蔵尊へ行くという。

いのち 石に新たな生命を吹き込む

～夢見る少年が、そのまま大人になってしまった人～

天神林町 赤須 順さん

今回は天神林町の西の端、間坂で農業を営んでいる赤須順さんを訪問いたしました。

赤須さんは、ぶどう（各種）113アール、キウイフルーツ40アール、合鴨による有機栽培米11アールを作付けする、昭和27年お生まれの元少年。奥様と三人のお嬢様を愛し、さらに農作物と2匹の合鴨を愛するナチュラルリストです。

赤須さんは、学校卒業後8年間のサラリーマン（コンピュータ関係の開発）生活を経て脱サラ就農。もちろん農業の経験は全くなく、「習うより慣れる」と、会社の同僚が引き止めるのを振り切って退社。サラリーマン生活を経験することにより、客観的に農業を見ることができたと話していました。



マンガ 小さい頃から書くことが大好きで、風刺のチョット効いた1コマ漫画を書いています。（茨城漫画連合所属）

リムロウ これは赤須さんの作った身長142センチメートルのロボットの名前です。このロボットは17年前に作りました。当時アマチュアが作ったロボットとしては画期的で、モニターカメラ付の遠隔操作ができ、手の指と膝、さらに足首の関節が動くものです。市の産業文化祭やシートベルト着用運動キャンペーンで活躍したこともあります。

ストーンクラフト 3年前から新たな趣味が加わりました。それはストーンクラフトです。「LOVE おおたフェスタ」でもすっかりおなじみとなり、若い親子連れや若い女の子に大好評です。

赤須さんの作品は、河原にある石が素材で、石の色や模様や形を大切にし、ほんの少しだけ手を加えて製作されています。

今年の夏はじめて開催した個展はたくさんの来場者でにぎわい、



そのほとんどが女性の方でした。作品を見て「かわいい！」の連呼で、すっかり若い女性の心をつかんでしまったようです。これからの活躍が、益々楽しみです。

これから 農業は、人間が生きてゆく上で一番大切な「食」を担っています。食べ物は安全でなくてはならないので、有機農産物の認証を少しずつ取得していきたいと話していました。「農作物は作るものではなく、育てるもの」と語ってくれたのが大変印象的でした。

いつまでも夢見る少年でいてください。
(by M・S)



(何に見えますか?)

劇工房「橋の会」



劇工房「橋の会」は発足して5年目に入る。

仕事を持った主婦たちの集まり、どれだけ続けられるだろうかとこの当初の思いとは反対に、人々が創り上げる喜びを感じながら、毎回満員のお客様に支えられて発足当時とは見違えるほど一人ひとりが成長してきた。

目下1月20日の東海文化センターでの公演に向けて稽古に入ったばかりである。今年6月の生涯学習センターで上演した「あゝチェルノブイリ 消えた村」を観た東海の主婦5人が上演委員会を結成しての再演である。東海村ははじめ新聞社5社を含む13団体の後援を受けての舞台、全員に緊張が走る。

今回は男性5人の客演者と青年会議所4人の方に声の出演のご協力を頂いた。女ばかりの劇団に心強い味方を得て、昼・夜と別れての稽古が続けられている。20人のアンサンブルが東海の地でどう花開くか……。

また、橋の会の付属「児童演劇研究所」では、ボランティアの学校向け出前演劇を目指して低学年・高学年向けの3本の戯曲を13人が順調に

週1回の稽古を進めている。生涯学習センターでの演劇教室が発展しての活動である。

橋の会の設立目標、演劇を通して人の心と心にかけて橋をとの思いが、東海・金砂郷・那珂町の人達の参加も得て少しずつではあるが実り始めている。スタッフは私と音楽の川口淳子さんの2人だけ、彼女のピアノの弾き語りは大好評だった、作曲も彼女。得難い仲間である。(木村夫伎子)



学び舎から
西小沢小

わくわくタイム
(総合的な学習の時間)



本校では、昨年度から地域の特色を生かした総合的な学習に取り組んでいます。本年度実施している各学年の学習内容は、3年生「わたしたちの町と歴史」、4年生「わたしたちのくらしと茂宮川」、5年生「食文化と米づくり」、6年生「体の不自由な人と共に」です。

5年生の学習に例をあげれば、4月に花壇の一部を田に作り変える作業に始まり、代かき、田植え、田の草とり、稲刈り、おだ掛け、脱穀、精米と一連の作業を体験しました。そして、保護者参加授業のなかで、自分の収穫した米を使用して五平餅、にぎり寿司などの米を中心とした料理作りに挑戦しました。学習後に実施したアンケート結果では、全員の児童が総合学習が「好き」という答えでした。その主な理由は、地域のことが分かるから いろいろな発見ができるから 自分の考えている方法で調べることができるから いろいろな体験ができるから、でした。

これから子どもが生き生きと主体的に活動できる「わくわくタイム」を工夫していきたいと思ひます。

私の宝物・すてられない物

「恩師からの年賀状」



この年賀状は、私が高校3年の時に2年生までお世話になったテニス部顧問の先生から届いたものです。

一見普通の年賀状ですが、最後に書かれていた自筆の部分が、当時受験を控えていた私には大変励みになったことを思い出します。

「インターハイ出場の気力を目標達成に生かしてください。頑張れ!!」

部活しか印象に残らない高校生活を送った私にはこれ以上ない励ましの言葉でした。受験には失敗しましたが、その後何となく、つらくなった時など心のどこかでこの言葉を思い出しがんばってきたような気がします。

卒業して10年以上たって、この機会にこの年賀状を久しぶりに見ましたが、当時の思い出がとても懐かしくよみがえってきました。この年賀状は、この言葉や当時の思い出を忘れないためにも一生大切に保管しておこうと思っています。(by H・K)

子育て奮闘記

踊るママパラダイス④

あるスーパーのレジで小さな男の子がレジ台の上ののっていました。「…なんでこんな所に」と思っているとレジ係さんは「危ないよ。」と言いましたがお母さんは知らん顔。あつけにとらわれているとまだ精算のすんでいない本を広げ出しました。よく、「最近のお母さんは…」と言われムツとすることがありますが、それは当たっている部分も多いと思ひます。もちろん、この注意しないお母さんもだけど、モヤモヤした気分でただ眺めていただけの私も同じなんだと感じたのです。

私が子どもだったころは、外で悪さをしていると知らない大人にガンガン怒られたものです。当時はやがましいとか怖かったくらいに思っていたのですが、自分が大人になった時、どうして怒られたのか理解できたし、ありがたいことだったのだと感ずることができました。子どもは、ゼロから始まって、社会のルールを色づけてくれるのは周りの大人です。大人がきちんとした道標を示してあげなければいけないでしょう。だから、ただレジ台の上の子を見ていた私もやはり“最近の”なのです。

私は、もし自分の子が悪さをしているのをみかけたら、みなさんに怒って欲しいと思ひます。そして私も過ぎない程度に、『やがましいお婆さん』になりたいです。

P.N. 織田裕子 ————— 常陸太田子どもの劇場

怒られ方は三者三様である



やってみよう

お出かけ下さい!

新春経済講演会



新春恒例の経済講演会が開催されます。どなたでも無料で聴講できますので、お気軽にお出かけください。

講師：日本テレビ「ズームイン朝」
ニュースキャスター 橋本 五郎先生

演 題：『21世紀に向けての展望』

と き：平成13年1月26日(金) 14:00

と ころ：常陸太田市生涯学習センター
ふれあいホール

定 員：300名(先着順となります)

お問合せ：常陸太田市商工会 72-5533

第4回親子工作教室

モノをつくるよこび親子でいっしょにLet Try!
手づくり望遠鏡で星を見よう

と き：2月3日(土) 16:00~19:00

と ころ：西河内市民ふれあいセンター

対 象：常陸太田市内に住む親子

募集人数：20組(先着順)

参加費：望遠鏡1台につき2,300円(材料代)

申込方法：郵便はがきに、親子の氏名、年齢(学年)、〒住所、電話番号を記入のうえ、1月16日~21日までにお申込ください。

応募先及びお問合せ先

常陸太田市中城町3280番地

TEL 0294(72)8888 生涯学習センター

郷土伝統工芸教室(郷土に伝わる民芸品をつくってみませんか)

エビラづくり

と き：1月21日(日)・1月28日(日)の2日間
9:00~16:00

と ころ：梅津会館

募集人員：15名(先着順)

参加費：2,000円(材料代含む)

申込方法：郵便はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号、教室名を記入し、1月16日(必着)までにお申込ください。

申 込 先：常陸太田市中城町3280番地

TEL 0294(72)8888

生涯学習センター

草ぼうきづくり

と き：1月14日(日)
9:00~14:00

と ころ：ホウキグサ採取の現地

募集人員：20名(先着順)

参加費：500円(材料代含む)

申込方法：1月11日までに、生涯学習センターまで電話で直接お申込ください。

第11回市民歩け歩け大会

幸久橋・枕石寺・粟原沼・梵天山を歩こう
(4Km・10Kmコースあり)

と き：平成13年1月21日(日)

集合場所：幸久小学校

参加料：1人100円

申込方法：現金をそえてスポーツ振興課スポーツ振興係まで

(山吹運動公園体育館内)

TEL・FAX 0294(73)1230

締め切り：平成13年1月12日(金)

主 催：教育委員会・体育指導員協議会

フォンス子どもの詩 入選作品

「つばやき」
幡 町 相田 大輝(5歳)
へそのお、きったとき
いたかつたんだよ!
(知っていたなんて
おっどろきですよね。)

「こさぎ」
大森町 椎名左知戸(67歳)
「うさぎのお目々はなぜ赤い
月の世界に行きたいと
いつもすねては泣いてるの
泣いてるの」

(二、三、略)

(すなおなリズム感で、目、耳、夢と工夫されていて感
心しました。)

第2回募集期間

1月4日(木)~1月26日(金)

応募先・問合せ先

〒313-0061 常陸太田市中城町3280番地

TEL 0294(72)8888 FAX 0294(72)8880

E-mail: ota-lls1@po.net-ibaraki.ne.jp

作品は600字以内(ワープロ等可)。末尾に住所氏名(匿名可)連絡先を明記してください。

選評：フォンス・ネットワーク・みつぎ しげる

生涯学習フェスティバルの一般参加団体を募集します。

2月24日(土)、25日(日)に開催する「生涯学習フェスティバル」で、日頃の生涯学習活動の成果を発表してみませんか。

募集対象：市内の生涯学習活動を行っている団体。
(ただし、営利行為を目的とする団体はのぞきます。)

成果発表の場所：生涯学習センター・パルティホール

対象内容：活動成果作品展示
(絵画・写真・書道・華道・盆栽・手芸など)
活動成果発表
(音楽・演劇・ダンス・映像など)

募集期限：1月31日(水)

申込方法：生涯学習センターへ来館し、
備付の参加申込書へ記入し
提出をしてください。
なお、参加団体の決定につ
いては、審査をし追って連
絡いたします。

問い合わせ先：TEL 0294(72)8888
生涯学習センター



常陸太田ビデオ研究会のお知らせ

パソコンによるビデオ編集にトライしてみませんか。

と き：1月13日(土) 13:00~15:00

と ころ：生涯学習センター

募集人数：10名(先着順)

申込方法：はがきで下記までお申込ください。

申込先及びお問合せ先

313-0002 常陸太田市下大門町866-1

TEL 0294(72)6985

E・メール kurofu@sannet.ne.jp 黒羽 文男

映画を
観たいこう

ウィークエンドシネマランド

350インチ大画面ハイビジョン
映画館にみんな集まれ

と ころ：生涯学習センターふれあいホール 入場無料(入場券が必要です)

「鈴鹿8時間耐久ロードレース」
©NHK ENTERPRISES 21
1/20 (土) 14:00~
観覧申込受付 12/23 (土)より

「遠き落日」
1/27 (土) 14:00~
観覧申込受付 12/23 (土)より

「わんぱくデニス」
©1993 Warner Bros. All Rights Reserved
2/17 (土) 14:00~
観覧申込受付 1/27 (土)より

観覧ご希望の方は、生涯学習センターへ直接来館してお申し込み下さい。先着順で入場券をお渡しいたします。

【お問い合わせ・申し込み】常陸太田市生涯学習センター TEL0294(72)8888(月曜日休館)

瑞竜小の NIE実践研究

学校教材に新聞を活用したNIE(ニュースペーパー・イン・エデュケーション)実践研究を進めている常陸太田市の市立瑞竜小学校(埴忠敬校長)は研究テーマ「よりよく生きるための力を育む社会科学習の在り方」に取り組んでいる。

研究代表者は15年間、社会科を担当している石川洋治教諭。

石川教諭は「新聞を効果的に活用し、市町村の人々にも色々な資料を提供できれば」と意欲を燃やしている。

同小の6年児童を対象に実施しているのは、国内外の最新の記事。石川教諭は、最近の出来事として取り上げたのが東海村の核燃料加工会社JCO(ジェー・シー・オー)東海事業所で発生した臨界事故。

新聞を読んだ児童からは「このじこは、とてもすごいじこだとわかった。だからもうこんなじこはおきないよ
うにしくちゃいけないと思った」「東海村の人々は、とてもめいわくだ
と思います。私もここにいたらたぶんもんくを言っていたと思います。東海村
の人々は、かわいそうだと思いました。」などと認識を新たにした。

また児童は、市政の理解を深めるため市生涯学習センターなどへ赴き取
材して新聞にまとめている。

石川教諭は「授業が新鮮になり、意欲的に学習に取り組むようになった」と評価している。

同校は常陸太田地区の研修会として来年2月ごろ、公開授業を予定してい
る。

(by H・K) 市生涯学習センターで取材する児童ら



リレー「思い出の絵本」～4～
エッセイ

(馬場町 上岡千賀子さん)

まだ我家の子供たちが幼かった頃、眠りにつく前にベッドの中で本を読み聞かせるのが習慣でした。そうすると親も子供に読んであげたい本を文章からだったり絵からだったり、ついついいろいろな角度から本を眺める事となります。そういう本の中の一冊“おひさま”は、色使いの明るさとおもしろさに引かれました。そこに書かれている絵。こういう太陽があってもいいんじゃないか、こんな色や形の花が咲いていてもおもしろい、こういう人がいたらすごく楽しいだろうな、と思ったら子供に見せたい！ 読ませたい！ 読んであげたい！ 一冊の本を何度も読んで聞かせ、子供自身も繰り返し読みました。続きを心待ちにしました。名前のごとくちょっと変わった“へんてこライオン”が好きになりました。不思議なフニキを持った“ファンファン・ファーマシー”のふきこさんと猫のニボシのファンになりました。

読んででも楽しく見ても楽しい本だと思いました。



(次回は三田寺芳子さん)

ほつとひといき
正月飾りの
ウラジロ、ユズリハ



正月の玄関のしめ飾り、鏡もちの飾りには、古くからウラジロ、ユズリハなどの植物が使われてきました。

ウラジロもユズリハも暖地性で常陸太田地方の自生地はきわめて少なく、大切にしたい植物の一つです。

ウラジロ(ウラジロ科)は、ワラビに似た羽状の葉をした草本ですが、地上部は1年たらずで枯れるワラビとは違って常緑であり、しかも羽状の対になっている基の部分に休芽があり次年の春にこれが伸び1対の羽片を増やし、葉が段のようになります。先端部分が次々と伸び栄えるので、家族や子孫の繁栄を願う正月飾りに用いられるようになったのでしょう。葉裏が白いことが、清浄で神事に用いられたのでしょう。(大曾根 伯)



ちよつとひといき

パスタの店
「ラ・ヴェルデ」

三才町24-2
TEL 0294 (72)7617
営業時間11:30~21:30

パスタの店「ラ・ヴェルデ」をご紹介します。イタリア語で「緑・新鮮な」という意味だそうです。

おすすめのメニューは「渡りガニのスパゲッティ」。香りがよくてコクのある味でとってもおいしい。もう一品は「カニミソのグラタン」クリーミーな味で忘れられないおいしさ。若いオーナーご自慢の自家製デザートもおすすめです。

また、ウイスキーだるをテーブルにして、木製いすが並び木の香り漂うしゃれた雰囲気を楽しめるパーティールームがあります。

これからの季節ちょっぴり素敵なおとときを約束してくれるパスタの店です。ランチタイム・ティータイム・ディナータイムとそれぞれ楽しんでおいしい。(綿引 美喜)



「常陸太田そのむかし」より「其二」
雪の中に寝た親鸞
ある年の冬、親鸞は二人の供のものと布教の旅の途中、太田郷の大門口(現在の下大門町)まで来るとふぶきになってしまいました。
疲れた三人は、この土地に近江国(滋賀県)から移り住んでいた日野左衛門尉親秋の家を訪れました。親鸞も生まれは近江国で日野という姓だったのでなつかしく思い、「ごらんの通りの旅の僧です。どうか、ひと晩だけでもお泊めくださいませんか。」と、たのみました。ところが、親秋はとてもしんどく泊めることはできません。」と断り、のき下でもと拜んだのむ親鸞をおこた様様に門の外へ追い出してしまいました。
親鸞は、しばらく立ち止まっていたが、道端にあつた石を引き寄せ、枕にして雪の中で横になりました。
眠りについた親秋は、「あなたは、あたたかく休んでいますか、先ほどの旅人はどうしているか考えてみましたか。」不思議な声にさとされ目をさました。親秋は、表に飛び出して旅人たちをていねいに家の中へ招き入れました。話をしているうちに親鸞聖人であることを知り、弟子にと心から願いました。親鸞は親秋をお供のひとりに加え、入西房道円という名をつけ、大門口にお寺を建てました。寺の名は「枕石寺」といい、枕にした石は寺の宝物として大切にされました。寺はその後内田町に移って、さらに現在の上河内町に移され、大門山伝灯院枕石寺とよばれています。
読み聞かせサークル銀河ステーション